



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月27日

上場会社名 株式会社 ドリコム 上場取引所 東
コード番号 3793 URL <https://drecom.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内藤 裕紀
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 後藤 英紀 TEL 050-3101-9977
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,346	△19.8	8	△99.0	2	△99.7	△441	—
2023年3月期第1四半期	2,927	10.0	817	62.1	810	64.6	521	73.5

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 △439百万円 (—%) 2023年3月期第1四半期 522百万円 (73.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△15.50	—
2023年3月期第1四半期	18.35	18.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	11,111	5,044	44.9	175.19
2023年3月期	12,226	5,631	45.6	195.70

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 4,993百万円 2023年3月期 5,579百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2024年3月期末配当予想は未定としております。詳細は、本日 (2023年7月27日) 公表の「連結子会社における営業費用・特別損失の計上、通期業績予想の修正、および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	6.5	500	△78.1	450	△79.5	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は、本日 (2023年7月27日) 公表の「連結子会社における営業費用・特別損失の計上、通期業績予想の修正、および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	29,129,591株	2023年3月期	29,129,591株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	624,995株	2023年3月期	621,595株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	28,506,875株	2023年3月期1Q	28,435,330株

（注）株式会社日本カストディ銀行（以下、「ESOP信託口」という。）が所有する当社株式595,800株（議決権の数5,958個）につきましては、上記期末自己株式数に含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、2023年7月27日に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「with entertainment」を存在意義として掲げており、人々の期待を超えるサービスを生み続けていくことを目指しております。また、今までになかった価値を創造し、ユーザーを魅了する体験を届けていくことに努めております。中期的には、IP×テクノロジーを軸に、多様なエンターテインメントコンテンツをグローバルに提供する総合エンターテインメント企業となっていくことを掲げており、持続的成長及び企業価値向上を目指しております。

主力のゲーム事業においては、ゲームの開発・運用が主要事業となっており、他社IPゲーム及びゲームプラットフォーム並びにオリジナルゲームの開発・運用を行っております。また、メディア事業においては、IPの開発・育成を目的として小説、コミックス等の書籍、電子書籍の出版、販売を行っている他、当社の有するインターネットサービスの知見と先進的なテクノロジーを活用した新規サービスを試験的に立ち上げ、事業化に向けた試行を重ねております。

当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高2,346,198千円（前年同期比19.8%減）、営業利益8,487千円（同99.0%減）、経常利益2,328千円（同99.7%減）となりました。また、子会社の新規タイトルでクローズを決定し減損処理を行ったことで特別損失416,328千円を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純損失は441,807千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益521,831千円）となりました。

当第1四半期連結累計期間における各セグメントの業績は以下の通りです。

ゲーム事業

ゲーム事業においては、子会社から新規自社配信タイトル『ダチメン伝説G』をリリースいたしました但売上が想定を下回る結果となりクローズを決定いたしました。また、一部の既存運用タイトルも想定を下回る推移となりました。

売上高につきましては、約5年間運用していた1タイトルが2023年2月末にクローズとなったことに加え、一部の運用タイトルが前年を下回る推移となったこと等により、前年同期比で減少いたしました。

利益につきましては、上記の減収要因に加え、前期末と当第1四半期に新規自社配信タイトル2本をリリースしたことに伴う費用の増加等により、前年同期比で減少いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は2,268,870千円（前年同期比20.5%減）、セグメント利益は236,019千円（同73.6%減）となりました。主力事業である当セグメントにおいては、引き続き運用中タイトルの安定的な収益の維持に努めるほか、新作のモバイルゲームタイトルが想定以上に厳しい状況であることから、開発中のモバイルゲームタイトルの全般的な戦略見直しやコスト削減等を実施し、早期に損益状況の改善を図り、下期後半にリリースする新規タイトルの貢献による売上、利益の増大を目指して参ります。

メディア事業

メディア事業においては、IPの開発、育成、収益化チャンネルの多様化を目的として出版・映像事業に取り組む中、ライトノベルレーベル「DREノベルス」から毎月刊行を実施しております。また、当社の有するインターネットサービスの知見と先進的なテクノロジーを活用し、Web3領域における新たな事業開発や、Twitterを活用したファンコミュニティ促進サービス『Rooot』を提供しております。

売上高につきましては、『Rooot』が安定的に収益を計上したことに加え、「DREノベルス」の刊行開始に伴い、前年同期比で増加いたしました。

利益につきましては、出版・映像やWeb3などの新規事業領域への投資を行っており費用先行が継続しているため、損失額は前年同期比で増加いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は77,328千円（前年同期比3.4%増）、セグメント損失は227,531千円（前年同期はセグメント損失75,209千円）となりました。当セグメントにおいては、中期的に目指す姿の実現に向け、今後も研究開発投資を実施して参りますが、全社的なコスト削減を実施する中で計画の一部見直し等を実施する予定です。

今後につきましては、開発中のモバイルゲームタイトルの全般的な戦略見直しやコスト削減等を実施し、早期に損益状況の改善を図り、下期後半にリリースする新規タイトルの貢献による売上、利益の増大を目指して参ります。また、継続的な投資を行い、ゲーム以外のエンターテインメント領域への事業展開と自社IPの開発・育成に注力し、IPを軸とした総合エンターテインメント企業への成長を目指してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結累計期間末における流動資産は6,682,429千円となり、前連結会計年度末に比べ1,165,964千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が1,343,864千円減少したものであります。固定資産は4,429,182千円となり、前連結会計年度末に比べ51,179千円増加いたしました。これは主にソフトウェアが27,569千円減少したものの、ソフトウェア仮勘定が55,206千円増加したものであります。

この結果、総資産は11,111,612千円となりました。

(負債)

当第1四半期連結累計期間末における流動負債は3,696,531千円となり、前連結会計年度末に比べ603,963千円減少いたしました。これは主に買掛金が51,679千円、1年内返済予定の長期借入金が42,500千円、未払法人税等が455,140千円、賞与引当金が90,519千円減少したことによるものであります。固定負債は2,370,795千円となり、前連結会計年度末に比べ76,013千円増加いたしました。これは主に長期借入金が82,250千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は6,067,327千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結累計期間末における純資産合計は5,044,284千円となり、前連結会計年度末に比べ586,835千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失441,807千円を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は44.9%（前連結会計年度末は45.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績及び今後の見通しを勘案し、2023年5月11日に発表した2024年3月期の連結業績予想（通期）の数値を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2023年7月27日）公表の「連結子会社における営業費用・特別損失の計上、通期業績予想の修正、および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、連結業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,044,573	4,700,709
売掛金	1,484,658	1,661,126
商品	5,268	6,004
仕掛品	17,482	32,662
前払費用	148,928	158,681
その他	147,482	123,245
流動資産合計	7,848,394	6,682,429
固定資産		
有形固定資産		
建物	191,229	191,229
減価償却累計額	△31,029	△35,457
建物(純額)	160,200	155,772
工具、器具及び備品	85,502	86,700
減価償却累計額	△53,143	△56,845
工具、器具及び備品(純額)	32,358	29,855
リース資産	7,232	7,232
減価償却累計額	△3,107	△3,382
リース資産(純額)	4,125	3,850
有形固定資産合計	196,683	189,477
無形固定資産		
ソフトウェア	201,601	174,032
ソフトウェア仮勘定	3,026,917	3,082,124
無形固定資産合計	3,228,519	3,256,156
投資その他の資産		
投資有価証券	59,926	59,926
繰延税金資産	491,226	483,315
敷金	199,404	199,404
その他	202,242	240,902
投資その他の資産合計	952,800	983,548
固定資産合計	4,378,002	4,429,182
資産合計	12,226,397	11,111,612

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	449,977	398,298
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	1,780,750	1,738,250
リース債務	1,281	1,281
未払金	554,851	574,433
未払法人税等	481,316	26,176
賞与引当金	129,549	39,030
その他	802,766	819,060
流動負債合計	4,300,494	3,696,531
固定負債		
長期借入金	1,952,750	2,035,000
リース債務	3,524	3,204
資産除去債務	100,000	100,000
その他	238,507	232,591
固定負債合計	2,294,782	2,370,795
負債合計	6,595,277	6,067,327
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,811,311	1,811,311
資本剰余金	2,068,472	2,068,472
利益剰余金	1,967,564	1,380,237
自己株式	△266,237	△266,237
株主資本合計	5,581,111	4,993,784
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,079	△101
為替換算調整勘定	82	78
その他の包括利益累計額合計	△1,997	△23
新株予約権	49,067	49,067
非支配株主持分	2,938	1,456
純資産合計	5,631,120	5,044,284
負債純資産合計	12,226,397	11,111,612

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,927,195	2,346,198
売上原価	1,618,881	1,662,472
売上総利益	1,308,314	683,726
販売費及び一般管理費	491,125	675,238
営業利益	817,189	8,487
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	-	2,979
出資金運用益	4,106	3,345
その他	524	76
営業外収益合計	4,631	6,401
営業外費用		
支払利息	10,051	10,666
支払手数料	729	644
その他	500	1,250
営業外費用合計	11,281	12,560
経常利益	810,539	2,328
特別損失		
減損損失	-	416,328
特別損失合計	-	416,328
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	810,539	△413,999
法人税、住民税及び事業税	207,758	19,942
法人税等調整額	80,346	7,038
法人税等合計	288,105	26,980
四半期純利益又は四半期純損失(△)	522,433	△440,980
非支配株主に帰属する四半期純利益	601	827
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	521,831	△441,807

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	522,433	△440,980
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	1,977
為替換算調整勘定	-	△3
四半期包括利益	522,433	△439,006
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	521,831	△439,834
非支配株主に係る四半期包括利益	601	827

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ゲーム事業	メディア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,852,416	74,778	2,927,195	—	2,927,195
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,852,416	74,778	2,927,195	—	2,927,195
セグメント利益又はセグメント損失(△)	892,398	△75,209	817,189	—	817,189

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しておりません。

- II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ゲーム事業	メディア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,268,870	77,328	2,346,198	—	2,346,198
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,268,870	77,328	2,346,198	—	2,346,198
セグメント利益又はセグメント損失(△)	236,019	△227,531	8,487	—	8,487

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

「ゲーム事業」セグメントにおいて減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において416,328千円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。